

まちが変わる

新横浜編

上

2013 3月 神奈川

改正で「のぞみ」「ひかり」上には、大型駅ビル「新横浜中央ビル」が完成する。合わせて一日百三十八本から二百四本へと大幅増になる。

ホテル（総床面積約一万一千平方メートル、計二百三十三室）は新幹線駅直上という優位性を生かし、JR東海のハイクオリティホテルブランド「アソシア」を展開。大型のベッドを入れたタイプ（二十三平方メートル、百五十二室）が中心で一人利用の場合、横浜地区初出店テナン合一泊一万八千円。近隣ホテルより若干割高だが「周

◇駅ビルがカギ

ダイヤ改正と大型複合ビル完成の相乗効果で、一躍注目の拠点駅となる新横浜。JR東海は「沿線の中でも首都圏のターミナル駅として成長させたい」と期待は大きい。駅前で開発を手掛ける事業者からは「駅ビルが成功するかどうか、今後の新横浜のポテンシャルを左右する」との声が少なくない。周辺の商業施設事業者からは「駅から人が出てこなくなるのではないか」と不安の声もあるという。地域の思惑も乗せて、新横浜は新たな展開を迎えようとしている。

◇全列車が停車

「予約画面の満席表示は、サービスを提供しきれていないということだ」。こう

改正で「のぞみ」「ひかり」合わせて一日百三十八本から二百四本へと大幅増になる。総床面積約九万平方メートル、商業・オフィス・ホテルが

たのは、新型車両N700系の投入が大きい。旧型と異なり、最高速のまま緩いカーブを通過でき、加減速性能にも優れているため、新横浜に停車させても、東

「予約画面の満席表示は、サービスを提供しきれていないということだ」。こう

ダイヤ改正と大型複合ビル完成の相乗効果で、一躍注目の拠点駅となる新横浜。JR東海は「沿線の中

でも首都圏のターミナル駅として成長させたい」と期待は大きい。駅前で開発を

拠点駅へ進む集積

新横浜駅と周辺が変ぼうを遂げる。JR東海のダイヤ改正で十五日から、東海道新幹線のすべての列車が新横浜駅に停車する。二十六日には駅ビルの大型商業施設「キュービックプラザ新横浜」がオープン、四月にはホテルも開業する。乗降客数が右肩上がりが増加する同駅。周辺では半導体・IT（情報技術）関連企業の進出も加速してきた。高い開発可能性が注目され、駅前帯では大型開発が相次いでいる。新横浜の「今」を報告する。（田崎 基）

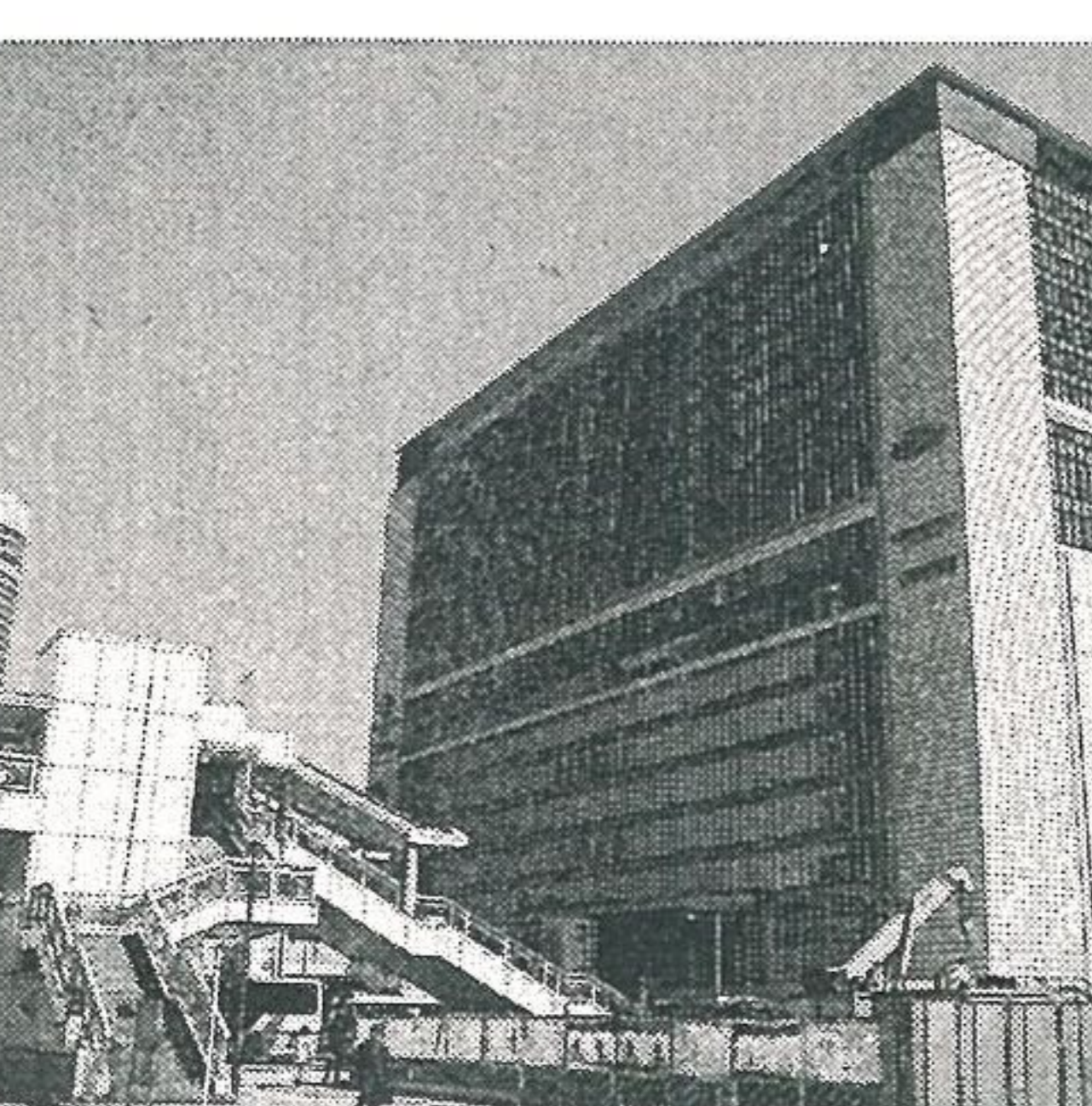
右肩上がり

話すのはJR東海で今回のダイヤ改正を手掛けた小島泰昌・新幹線鉄道事業本部運輸営業部輸送課担当課長。新横浜駅はこれまで、停車本数の増加を上回るペースで乗降客数が増え、乗車予約画面で「満席表示」が目立つようになってきた。「いつ来ても乗りたい

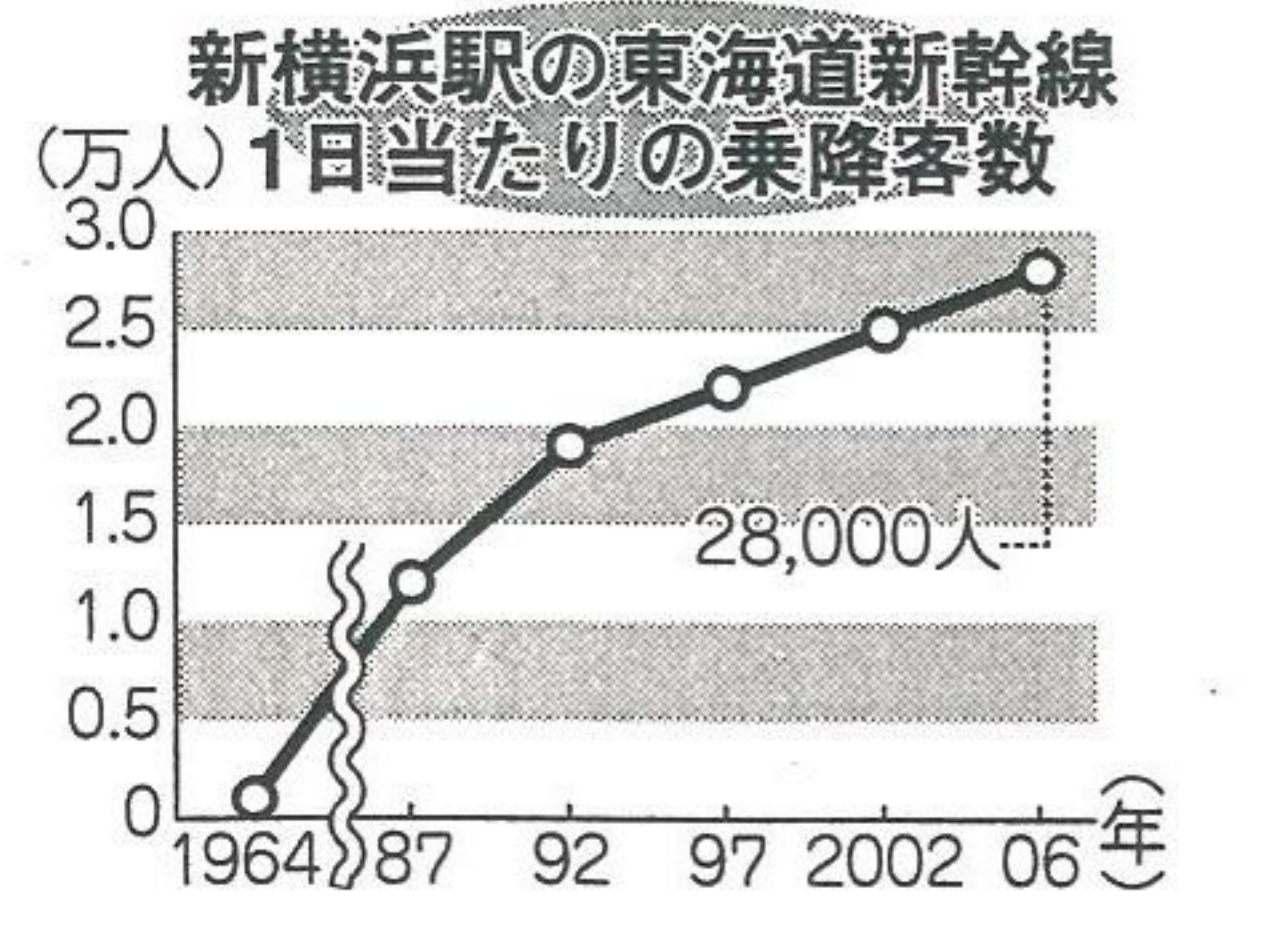
話するのはJR東海で今回のダイヤ改正を手掛けた小島泰昌・新幹線鉄道事業本部運輸営業部輸送課担当課長。新横浜駅はこれまで、停車本数の増加を上回るペースで乗降客数が増え、乗車予約画面で「満席表示」が目立つようになってきた。「いつ来ても乗りたい

京大阪間の所要時間に影響しないという。十五日からは一時間に最大十本が停車。首都圏から関西方面への一番列車は新横浜駅を午後六時に走りだし、同八時十五分には新大阪に到着できるようにする。

便性と魅力を兼ね備えた店舗構成に仕上げた。「テナント誘致で工夫を凝らした。年間二百七十億円の売り上げを目指す」JR東海事業推進本部新横浜駅ビル開発担当という。



駅前では急増する利用者に対応するために歩行者デッキ整備などが進められている
—新横浜駅前



ダイヤ改正で利便性が飛躍的に高まる新横浜駅の直